

抄訳：C. W. Mateer 著『官話類編』（1903）

南部まき・岡部泰枝訳
内田慶市監訳

この翻訳は、2000 年度の内田慶市先生の授業での成果をまとめたものである。この授業に出席していたのは、王潔雲、谷口知子、南部まき、岡部泰枝の 4 名である。のちに南部まきと岡部泰枝で原稿の形にまとめた。使用したテキストは C.W.Mateer 著『官話類編』A COURSE OF MANDARIN LESSONS, BASED ON IDIOM. 香港. 1903 年、である。

Mateer について略歴を述べておく。Calvin Wilson Mateer (1836—1908) 中国名は狄考文。アメリカ北長老会の宣教師。1863 年末に中国に渡り、山東省登州で布教活動をする。翌年登州に文会館を設立。文会館は後に済南齊魯大学に合併された。マティアーは数学に精通しており、『筆算数学』『代数備旨』を編集した。中国初級学校で使用される数学の教科書である。また『官話類編』を編集し、これは当時の外国人が中国語を学ぶのに必備の書であった。1908 年に青島で死去した。

翻訳は、官話類編序、例言に続いて、第 1 課から第 10 課までの Subjects（各課の文法事項の説明）と Notes（本文の例文について重要と思われるものを説明したもの）の部分で訳した。翻訳の中での表記は、以下の用例に従う。

一、Subjects と Notes の部分で、本文中の語や例文の説明および訳文を英文イタリック体で表記しているものについては、英文表記した後ろに（ ）付きでその日本語訳を表記した。

一、Subjects と Notes の部分で、“ ”で挟んで表記されているものは、翻訳のさい同じく“ ”で挟んで英文表記した。

一 Subjects と Notes の部分で、説明の部分で（ ）で挟んで表記されているものは、翻訳のさい〔 〕で挟んで日本語訳した。

一、Subjects と Notes の部分で、本文の例文を英文翻訳している部分で（ ）で挟んで表記されているものは、そのまま（ ）をつけたままの英文を表記した。

一、Subjects と Notes の部分で中国語で表記されているものは、「 」付きで表記した。

一、各課、ノートの表記の後のページ数は『官話類編』A COURSE OF MANDARIN LESSONS, BASED ON IDIOM の該当ページを示している。

一、翻訳中、日本語部分における () 付きの表記は、理解しやすくするため説明を加えているものである。

一、ノートにあげられている中国語の本文の中に () で括って表記されているのは左側が南京官話、右側が北京官話である。3 通りの表記がなされている場合は左側が南京官話、真中が山東方言、右側が北京官話である。

一、『官話類編』の中国語の課文の中では現代では逗号で表記されるものが頓号で表記されており、ここでもその表記に従った。字体はできるだけ『官話類編』のテキストに従ったが、フォントの関係でそのままの字体で打てなかったものもある。

官話類編序

本書は、そもそも西洋人が官話を学ぶために編纂されたものである。いわゆる官話とは、ただ官場（もともとは裁判所、転じて官界）での言葉ではなく、全国に広く流布して通用する言葉をいう。マティア一氏は本書を作ろうという志があったが、それは今に始まったことではない。20 年前から蓄積があり、近年 5、6 年の間、私と共に苦心してもっぱらこの作業に従事した。非常に苦勞し、どれほどこの本の作り方について議論したかわからない。我々は口語の種類によって、200 のテーマに分割し、各テーマごとに 1 課とした。およそ口語の種類およびその変遷はどのようであるか、その接続はどのようにされるか、この 200 のテーマにすべて大まかにまとめた。ただ各課の中のコまごました語句は、自ら創作したものだけでなく、『聖諭広訓』・『好述傳』・『西遊記』・『水滸伝』・『語言自選集』などの書物を広く読み、それらの言語のよいところを選び、テーマ別に分類した。さらに言語中で論じるべきところは、すべてにおいて行きわたっている。およそ農業・工業・商業・官界で日常的に使用されているもので、備わっていないものはない。各テーマの用法を解説し、これを諸事に加えた。従って、学習者がもしこの 200 課をマスターすれば、口語を運用するのに十分事足りる。もしこの 200 のテーマに通じることができれば、会話の秘訣を体得したことになる。また本書の作成は 1 人の力によるものではない。かつて北京・済南・南京・九江・漢口などに本書の写しを配布して、数回にわたり批評をしてもらった。また、自らも各地へ赴き、その土地の有名な先生に協力してもらって、事細かに目を通して手直しし、すべての批評を合わせて、1 つ 1 つ審査し決定した。必ず通行しているものをよしとし、通行していないものはこれを列記した。その並べ方は、北京官話は右に、南京官話は左に記述した。3 行列記されている場合は、すなわち山東で使用されるものが真中に記述されている。ゆえに、本書を使用する者は、通行しているものがわかるだけでなく、通行していないものもまた、最終的に南北でどこが異なるかを正確に知ることができる。これらを翻訳した英文および解説・注釈もまた、南北の有名な西洋人の批評を経ており、できるだけ中国語と合致させ、漢字の意味は適切なものにし、かつ南北で漢字の音を適宜決定して、まさにそれぞれがどの音である

かを知らしめた。それぞれの音はどの音(清濁など)であるか、またどの漢字の音・部首に基づいているか、本書中で使用されている漢字および語句についてそれぞれ要旨をまとめて、学ぶ者が調べたり、見たりするのに便利にした。ゆえにこの著作が完成した以上、志があった官話を学ぶ者にとっては、大きな助けになるであろう。

時は光緒 18 年(1892)、年は壬辰、夏季中旬。

鄒立文序

例言

そもそも人が官話を教えることは、中国においては一般的なことではない。ゆえにこれを教え導く先生は、必ずしも要訣を得てはいない。そこで、今私は浅薄を省みず、いくつかの糸口を挙げて、これを以下に記すことにする。

一、本書は、文語を学ぶために編纂されたのではなく、口語を学ぶために編纂されたものであることを理解しなければならない。さらに編集した会話は、書面語の構文法を模倣するのではなく、特に巧みで優雅であることをよとした。すなわち口語の構文法を模倣し、自然であることをよとした。先生たる者は、これを詳細に説明するべきである。

一、本書で記す四声は決して『五方元音』に基づいて定めたものではなく、北京での発音に基づいて定めた。思うに、中国語の四声は場所によって異なる。話し言葉に至っては、各地の音を基準とすべきであり、『五方元音』にこだわる必要はないし、また本書にとらわれる必要もない。ただその地方の発音を推測し、自分の耳で何声であるか聞き取って、言うことができればよい。

一、中国の書物の中で、五声説が存在するが、北方には四声しかない。思うに、入声はただ南方にしか存在しない。しかし、北方諸省ではこの声調はすでに他の四声の中に混在している。従って、北方で官話を教える先生は、入声について論じないようにするべきである。ただ四声の区別に注意するのみでよい。

一、もし学習者が先生に音読してもらうことを願うならば、自らも先生に続いて音読すべきである。すなわち先生が読誦する時は、努めて自然に、その軽重・早さ遅さはそれぞれ適切なものにしなければいけない。声調は高すぎたはいけないし、またわざと調子をつけてもいけない。ちょうど経文を音読するような感じで読むべきである。

一、もし学習者の発音がはっきりせず、漢字の本当の音を会得できていないなら、先生はすぐに適切な発音を明示しなければならない。思うに、そもそも初学者が学び間違えれば、その後はこれを矯正しようとしても大変難しい。普段の会話の中で、もっぱらこのことに注意すべきである。すなわちひとたび間違えれば、すぐにこれを正すべきであり、間違いを聞いてまったく気につけないようではいけない。

一、本書中に列記されている文で、すべてが通行していない場合がある。先生はその中のものを任意に選択して教えても構わない。もしも、共に使用されていなくて別に先生の言葉で、

文中の言葉と同義のものがあれば、随時説明して構わない。

一、西洋人が官話を学ぶのは、そもそも容易なことではなく、しばしば忘れてたり間違えたりすることは避けられない。先生たる者は、辛抱強くまた繰り返し詳しく解説し、熱心に教えていくべきである。それでこそ上手く教授できる者である。

一、本書中ではすでにいろいろな事柄について触れて来た。使用した漢字は見かけたり使用するのがまれで、見慣れぬ感じのするものがあるだろうが、有名な先生に校閲してもらい、大部分は大勢の見識に基づいて定めた。従って、間違いと思うものがあったとしても、1人の見識によって改めてはならない。またその中に心ならずも誤字があるが、本書の最後ですでに明示した。先生はこれに従って、改めて使用するのがよいだろう。

第1課 (p.2) THE GENERAL CLASSIFIER. <区別詞> (量詞)

中国語には、区別詞 (量詞) として実詞に付く多量の種類の単語があり、実詞か虚詞かといったような、1つの固定的なものに基づいた類似性に基づいて選り分けられている。中には、2つかそれ以上を持つものも有るけれども、一般に、それぞれの名詞は、対応した区別詞 (量詞) を持っている。英語にも幾分これと同じような使い方をする名詞がある。

例えば、ひと群れの羊、1枚の窓ガラス、ひとかたまりのパン、ちょっとした仕事、2本のとうもろこし、など。これらの区別詞 (量詞) が英語の形と同じ時は、訳されるだろう。他の場合 (同じでない場合) は訳出することはできない。ピジン・イングリッシュでは、すべての種類の区別詞 (量詞) を“piece”というひとつの単語でまとめている。そこで“one piece man”は「一個人」と同じ英語ということになる。

区別詞 (量詞) は、明確な数字を言う時だけ使われる。それゆえある人たちから numeratives (数えるもの) と呼ばれている。* (*私は classifier (区別詞) という語のほうを選んだ。なぜならこれらの単語は物を数える場合の付属物にすぎず、やはり正式な数詞によって発生させられるからである。) この単に消極的な法則の後ろには、どのような限定された指示詞もこれらの区別詞 (量詞) の使用として与えられることはない。ただ、適応している法則だけが慣用語である。最も具体的な名詞は区別詞 (量詞) をとる。しかし、特に時間、場所、分量を表わす名詞、例えば日、年、インチ、マイル、オンス、catty (未詳。何らかの単位を表す語だと思われる) などは区別詞 (量詞) を取らない。これらの区別詞 (量詞) はこれ以降の課で詳しく説明されるであろう。この課では「個」という一般的な区別詞 (量詞) に限っている。これは特別な区別詞 (量詞) を取らない名詞に対応している。また、たぶん必要に応じて、特別な区別詞 (量詞) の代替物としてだいたい名詞に対応しているだろう。「個」の概念は、1つの物というものであり、そこでこの種類の区別詞 (量詞) の中で最も広範囲に使われている。「個」は抽象的な名詞に対応する唯一の区別詞 (量詞) である。それはしばしば「箇」と書かれ、省略形は「个」である。「些」は「個」の複数形と考えてよいだろう。

う。そのようなものとして、次の課のように「這」chê⁴と「那」na⁴と合体する。単独で使われるときは例文 22、23、24 のように限定的である。それはしばしば one (一) が前に置かれる。2つの言葉(一些)で some (いくらか) を意味している。

○ノート (p.4)

2. 兩個男人。

two (二) は中国語では 2 つの言い方がある。すなわち「二」と「兩」である。前者はある一定の基数であり、一般に不明数を言う時に用いられ、量詞をとらない。一方、後者は人および物に使用される。それぞれの適切な使用場面は実際に使ってみることからのみ習得できるものである。

3. 三個女人。

「女人」は a female men (女性) である。「男人」が a masculine man (男性) であるのと同じように。「人」は普通男性(を表す語)として使用されるが、人種の総称である。

5. 五個師(母/娘)。

知識人の妻は、北方では「師娘」と称され、南方では「師母」と称される。南京では、「師娘」も使用されるが、「師母」よりも若干敬意が希薄であると見なされ、商人や店の経営者の妻(という意味)に当てられる。

10. 十個學(堂/房)。

「學房」と「學堂」は両方とも、どの地域でも理解できるが、前者は北方に普及し、後者は南方に普及している。

11. 十一個錢。

中国語には、11、12、20、30 のような縮約形が存在しない。しかし、その数は省略なしに示される。

12. 十二個月是一年。

中国語の動詞には数に伴う変形がない。それゆえ「是」は、単数および複数のどちらの場合にも同等に使用される。

13. 三十天是一個月。

学生は、量詞は「月」と共に用いられるが、「年」あるいは「天」には用いないということに注意すべきだ。このような変則的な用法についてわざわざ解説をすることはしない。

16. 一百五十個人。

“and”が補われている。中国語において、数字はいかなる関連語句もなしに配列される。

17. 十九個小錢。

“small cash”は、一般の硬貨よりも小さく薄く造られた偽物のお金であり、その他のもの(お金)の間に紛れ込んでいて、本物のお金として数えられる。小額のお金を受け取った時、受

け取った者はこれらの偽金を捨て、偽金を正規のお金と取り換えるよう求める。ブローカーは、割引値段でこれらの偽金を買って、正規のお金の百元ごとのなかにいくらかずつ支払うという商売をしている。

これらの「小銭」は、「私銭」*si¹ch²'ien²*とも称され、*illicit cash* (不法なお金)である。

19. 一百零六個錢。

数字の桁の省略は、中国語では「零」いう語で示される。二個あるいはそれ以上の省略は、二つの *ling* が一般に使用される〔通常の数学的な正しい言語において〕。(28)の例がそれである。また *ling* は、低い単位が高い単位の後に続く時に使用される。(21)の例のように。

22. 先生有(好些/好些個)錢。

「個」が「些」の後に続く用法は今日、北京では例外的形式である。しかし、たいていは北京とその周辺に限られる。

23. 門口有(一些/些個)女人。

逐語訳 *The door mouth has some women* (戸口は数人の女性を持っている)。すなわち、*there are some(or several)women at the door* (ドアのそばに数人の女性がいる)である。動詞「有」は *to have* (持っている)であるが、存在を表す動詞 *to be* (いる、ある)としてしばしば使用される。

「一些」は、「些個」に代わるものとして、まれに北京で聞かれる。南方官話ではしばしば「一」は省略され「些」が単独で使用される。

25. 門口有五六個人。

“or”は省略されている。二個の数字がこの方法で相互に続く時はいつも、それらの数字の間では“or”は省略される。

29. 李太太、有十八九個學生。

「十」は、ここでは「八」と「九」のいずれにも付加する。一方逐語訳の英語では、*ten and eight* (18)か *ten and nine* (19)と言う。

第2課 (p.5) DEMONSTRATIVE PRONOUNS. <指示代詞>

「這」これ「那」あれ これらの単語は、特定の量詞に後続しない時、一般に「個」あるいは「些」に後続する。時には「個」と「些」は省略されるが、意味は大体等しい。「些」が後続する時、その意味は複数になる。すなわち、*these* (これら)と *those* (あれら)である。「些」は、時にはその前に「一」を置いて、ちょっとしたという意味を表し、*this or that lot of* (このいくつかの、またはあのいくつかの) などと同義にさせる。従って「這些東西」は *these things* (これらのもの) という意味を表すが、「這一些東西」は、むしろ *this lot of things* (このいくつかのもの) という意味を表す。

○ノート (p.7)

3. 這個音、不好聽。

動詞の to be (いる。ある。) は省略されている。この省略は、非常に一般的である。

4. 這些小錢、不(好用 / 好使)。

「使」は北方官話では非常に一般的であるが、南方では使われない。南方では「用」がいつも使用されている。

5. 這個筆、不大好。

「不大好」は No great good (あまりよくない)。すなわち not very good (あまりよくない) である。

7. 那個(落地 / 地方) 不好。

「地方」は、どこでも通用するが、「落地」は南方だけで使用される。

9. 那個人有病、不能吃飯。

「飯」はその発音 ch'i を特殊化するために「吃」に加えられる。その ch'i は、その目的語となる「飯」を導き、それは同じ発音の他の語とそれを区別するために使用される。その目的語は動詞と結合しており、翻訳上に表現する必要はない。これは非常に一般的な熟語 (イディオム) である。15 番の文章でも「寫字」という他の例がある。51 課を参照されたい。

12. 那些人、沒有飯吃。

「沒有飯吃」は逐語訳では、No have rice to eat (食べるご飯がない)。すなわち have nothing to eat (食べるものが何もない) である。

19. 請先生寫這個字。

逐語訳では、I invite the teacher to write this character (私は先生にこの文字を書くよう頼む)。

“teacher” は、丁寧さを表すためにここでは“you”の代わりに使用されている。

20. 那個學生、不聽說。

「聽說」は逐語訳では hear saying (命令を聞く)。すなわち obey orders (命令に従う) である。両方の単語は、ここではそれらの元来の意味から離れたかたちで使用されている。to hear (聞く) という意味の「聽」は、listen to (耳を貸す) to obey (従う) という意味で使用される。一方 to speak (話す) という意味の「説」は、命令あるいは教学の意味で使用される。前者はその声調が変化するが、後者は変化しない。

24. 那個地方、沒有好人。

しばしばそうであるように、ここでは複数形が含まれている。25 番の文章は、その単数形を表している。そして 26 番の文章は、「一」の付加がその単数性を強調することを示している。

第3課 (p.7) PERSONAL PRONOUNS. 《人称代名詞》

「我」は、私は／が、あるいは、私に／を。

「你」は、あなたは、あなたが、あなたを、あなたに、あるいは、なんじ、そち、そなたが、は／を／に、あるいは、なんじは／が／を／に。

「他」は、彼は、彼が、彼女は、彼女が、彼に、彼を、彼女に、彼女を、それは、それが、それに、それを。人・人間以外の動物にかかわらず、自由に使用されるが、ものに対しては控えめに使われる。中国語では、名詞は性別あるいは格の区別がなく、一つの代名詞がすべてに対応する。

「們」 複数であるという標識である。普通は人称代名詞にのみ接続するが、時には人を表す他の語に接続することもある。決して物を表す語には付かない。二人称と三人称の代名詞は、しばしば「們」なしで複数形を表わす。丁寧表現では、「們」はしばしば単数の意味で「我」や「你」に付けられている。これは特に北京語における例である。

以上は、一般的な人称代名詞である。後ほど、さらに多くの口語体の代名詞を紹介するだろう。84課を参照のこと。

○ノート (p.9)

1. 他 (沒有 / 沒) 吃 (朝 / 早) 飯。

会話では、「沒」の後の「有」は非常にしばしば省略され、特に北方ではそうである。しかしながら、文章に書く時は先生は一般的に「有」を使うように要求するだろう。特に、南方においてそうである。しばしば中国語においては、実践が理論と矛盾する。「有」が省略される時、「沒」は一般に mei と発音される。恐らくそれは「沒有」の短縮形である。たとえ北方でも mei の後にしばしば「有」が付加しているように聞かれる。「breakfast」という意味の「朝飯」は山東でのみ使用されるように思われる。

8. 他不能不告訴你。

ここでは強い断定をなす二個の否定語形式があるが、それは一般的な中国語の慣用語である。

9. 你們可以等一等。

“you”は強調である。呼びかけられた人は、待つように要求されていない人と対比している。そうでないならば、「你們」は一般に省略される。

14. 你去告訴他、等一等。

「等一等」は、文構造により不定(数)になる。そしてそれは、中国語のなかで不定(数)が持っている唯一の使い方である。

15. 我們還沒吃 (中 / 晌 / 午) 飯。

北京では「午飯」が使用され、南方では「中飯」が使用される。一方「晌飯」は山東で使用される。しかしながら、済南府では「晌午飯」が一般的に使用される。

16. 這個事、你不能不管。

目的語は、ここでは動詞の前に前置される。そしてそれは中国語においては一般的な慣用語である。それは目的語に対して卓越性を与え、その表現を強調している。

17. 這個事情、你不（好 / 可）告訴他。

「不可」は、must not（～してはならない）という意味を表し、多かれ少なかれ強制力を有する。それは完全に t'ung hsing「通行」（通用する。すなわちどこでも通用する。）である。

「不好」は ought not（～するのは適切でない。）あるいは should not（～すべきでない。）という意味を表し、不適當の意味を含む。これは中原官話と南方官話の両方で、広範囲にわたってこの意味で使用される。しかし北京語ではめったに聞かれない。

21. 這個事情、我實在不（曉得 / 知道）。

「知道」は南京あるいは南方では聞かれるのはまれである。「曉得」がほとんど全くそれに代替するものである。また「曉得」は北方でも使用されるが、その例は少ない。

23. 請先生給我（一吊五百大 / 三吊）錢。

中国北方地域の大部分で、十のお金を二十と言ひ、あるいは五十を百と言う習慣がある。多くの場合において、（十以下の数を除く）実際のお金を二倍にした数字を言う。そのようにしてお金の金額を示した場合「小錢」small cash（小錢）と言う。これとは逆に二倍に数えず、実際のお金を数えたい時は「大錢」すなわち large cash（大錢）と言う。十以下の数は二倍にされないが、「大」いう語は区別するために付けられる。「小錢」は、「京錢」なわち capital cash（京錢）とも言われる。というのも、これは北京で生じた数量計算法であるからだ。これらの数量計算法の間で、境界付近にある場所では、“large”と“small”などの語はお金の全部の金額に対して使用される。各地において、北方ではお金の合計は二倍に言われ、南方ではそれが実際のお金であると考えられている。そこで我々は、状況に応じて「小錢」が偽のお金という意味であるのか、二倍に数えられたお金という意味であるのか見るのである。

25. 這個時候、他們還（沒有吃夜 / 沒吃晚）飯。

「晚飯」は北京語および南方官話のいずれにも使用されるが、「夜飯」は一般に山東で使用される。

26. 你可以告訴他、禮拜四來。

一週間の曜日は、安息日から何日目ということで数えられる。安息日は「禮拜日」あるいはより一般的に単純に「禮拜」と言われる。この単語はローマ・カトリック教徒からもたらされた。

27. 明天是禮拜六、我們不學話。

「學話」は learn words（言葉を学ぶ）であり、すなわち授業がある、という意味である。

的は所有格の一般的な標識である。それは我々の2つの所有格の型にあたる。すなわち's および of である。それはしばしば省略され、所有格は単語のたんなる並列によって暗示される。これは特に2つの所有格が互いに並列し合う場合のことである。的のほかの重要な用法については、後ほど述べることにする。18、23、39課を参照のこと。

○ノート (p.12)

2. 老爺的話不錯。

your honor (閣下) はただの意識に過ぎない。「老爺」は人称代名詞の使用を避けるため、丁寧表現として使用される。この丁寧な形式は役人・上役・見知らぬ人に話しかける時に使用される。しかし、これは日常生活において、特に家族や友人などの日常的な交際の中では、決して一般的な習慣ではない。英語ではこのような間接的な呼びかけを訳すのに、適切な意味を与えることができないので、私はこれより以降、それがどのようなものであっても、ただ単に人称代名詞“you”で、敬称として同等のものとして簡単に訳すであろう。

3. 你不要管我的事。

not want (～すべきではない) の意味の「不要」は、禁止の一般的で強くない形式である。

「你」は翻訳では最も省略される。

14. 這不是他男人的事。

「個」は、特に名詞が後に伴わない時、しばしばそうであるようにここでは省略されている。

16. 這個東西、不合我的式。

「我的」はここでは複合語、すなわち「合式」の部分の間に挿入されている。(離合詞)

20. 這個人的官話、實在好聽。

より上品な翻訳は次のようになる。すなわち This man speaks Mandarin beautifully. (この人は官話を上手に話す)。

21. 我們的老爺、沒有這樣的規矩。

役所の職員たちはみな上司を「我門的」～さんなどと呼ぶ。私たちと関係がある役人の意である。

23. 他女人的力氣、比他的大。

逐語訳。すなわち His wife's strength compared with his is great. (彼に対する妻の力は強い)。

これは形式的比較の一般的方法である。他の様々な比較の形式は第58課および第99課を参照されたい。特に尊敬の意を見せたい原因、希望が無い時、しばしばそうであるように「女人」という語は、ここでは妻という意味で使用されている。

第5課 (P.12) THE ENCLITICS 子 AND 兒. <<接尾辞の「子」と「兒」>>

「子」は子供、息子。

「兒」は幼児、息子。

これら両方の漢字は、名詞として区別し際立たせるために、単語に付加される。ある単語は 1 つをとり、ある単語はもう一方のものをとるが、一方で多くのものは随意に両方をとることができる。ある少数の名詞で、これら両方をとらないものもある。その 2 つは、実際は同じ目的にかなっている。「子」は「兒」よりもほんのわずかに丁寧であるだけに過ぎない。

「兒」はだいたいの場合、多かれ少なかれ小さなものを指す役割がある。「子」は南方官話でより使用され、「兒」は北方官話、特に北京語でより使用される。

「子」と「兒」は、いずれも書面語よりも口語で使用される。それらの極端な使用は、特に後者にみられ、教養のない人や、不注意な発話において目立つ。「兒」は普通それと結びつく単語と合体して発話される。従って、「錢兒」は Ch'ien-er と発音されずに、Ch'ier と発音される。多くの中国人は、彼ら自身が単語に「兒」を付加しているという事実をほとんど自覚していない。特に南京において、北京ほどではないが実際のところそれは多く使用されるにもかかわらず、大部分の教師たちは、それは使用されないと主張しそれを筆記することに對し異議を唱えるだろう。

「兒」はまた時間および場所の副詞を構成する時に使用される。第 9 課および第 16 課を参照のこと。

○ノート (p.14)

4. 他有兩個兒子、一個(姑娘 / 閨女)。

少女あるいは若い女性という言葉の使用に関して、官話においては大きな違いがある。山東で一般的な単語は「閨女」である。また「姑娘」いう単語は、役人や知識人の娘という意味で使用される。北京で「閨女」は自分の娘のことを話す時に使用される。一方「姑娘」は、それ以外の場合に使用される。南方官話では、両方の単語がしばしば多様に混在して使用される。そしてこれら 2 個の単語以外に、より丁寧な単語として「小姐」〔little sister〕が使用される。また「女兒」と「女子」という単語は、しばしば北方官話と南方官話のいずれにおいても、娘に対する特定の単語がないので、特に娘という意味で使用される。

8. 他的(家里 / 老婆)、不會過日子。

「老婆」いう単語は、しばしば〔一般的に山東で〕一般の人々が妻という意味で使用する。しかし、多かれ少なかれ敬意ぬきである。このように使用される時、アクセントが「老」の上に加わった時に、「子」あるいは「兒」がしばしば付加される。「家裏」は home (家) を意味するが、しばしば家の中で最も重要な人、すなわち妻という意味で使用される。大部分の中国人の暮らしは先がおぼつかない状況であるがゆえに、「過日子」いう表現は非常に暗示的である。

12. 那個老頭(子 / 兒)、沒有兒子。

「老頭」に後続する「子」と「兒」は無頓着に使用される。「兒」が使用される時、二個の単語はしばしばあたかも *er* が *t'ou*² の間にあるかのように発音される。すなわち *lao t'rou*² である。この場合は、他の同じ様に発音を変化させたケースのように、発音の変化形のまねをする必要はない。

13. 這個（老太 / 老婆子）有七十多歲。

「老婆子」はここでは年配の女性を意味し、発音で強調する箇所は「婆」である。奇妙な頑固さで、彼らは女性が若い場合は「老」を強調するが、女性が年配である時は「老」を強調しない。「是」ではなくて「有」が、一般的に年齢を言う時には使用される。

15. 李老爺的兒子、明天過生日。

子供の最初の誕生日は、特別にお祝いをする。その他は、老人や役人の場合を除いて、誕生日はほとんど注目されない。

16. 衣先生的女兒、還沒出（門子 / 閣）。

「出門子」は若干の地域で多く使用されるが、「出閣」がさらに一層礼儀正しい言葉である。九江では「出門子」はもっぱら未亡人の再婚という意味に当てはまる。一方、済南府では売春婦という意味で使用される。もし「子」が省略される、あるいは「兒」に置き換えられたら、その語句は *to go on a journey*（旅行に行く）という意味になる。

18. 我的小刀兒、不大快。

「小刀兒」は小さなナイフを意味するが、一方「刀」あるいは「刀子」は、大きなナイフあるいは剣を意味する。

21. 這些杏子、賣（三個 / 三）錢一個。

「三個錢一個。」は *Three cash [for] one.*（一個は三錢。）である。中国語には、我々の言語の中の“for”にあたる単語がない。

23. 李師（母 / 娘）要僱一個（老媽 / 老婆）兒、看（娃娃 / 孩子）。

「老婆兒」あるいは「老婆子」は、乳母の意味で、若干の地域で使用されるが、現在普及している *nurse*（乳母）という意味の単語は「老媽」である。また南京では、「媽媽」が同様の意味で使用されている。南方では、一般に「娃娃」が小さな子供に相当するが、北方では赤子のみ用いられるか、もしくは〔より一般的に〕泥人形に相当する。

24. 他的小名兒叫年子、他的學名兒我不（曉得 / 知道）。

男子は誕生の際に「小名」（幼名）を、あるいはより丁寧に「乳名」*ju*³ *ming*², すなわち *milk name* をつけてもらう。彼らが学校に通い始めた時、先生が彼らに新しい名前を与える。そしてそれが一生涯を通して彼らの正式な名前となる。もしも彼らが全く学校に行かない場合、新しい名前は成人になる前、たいてい両親に付けられる。そしてそれは「大名」と称される。両親で、特に母親は彼らが生きていく限りは、しばしば彼らの“*little name*（幼名）”で呼ぶ。これらの二個の名前以外に、若者にはたいてい「號」*hao*⁴、あるいは *title*（肩書）というも

のがある。そしてまたかれらの多くは「外號」wai⁴ hao⁴、すなわち nickname(ニックネーム)を与えられる。特に書面上においては、彼の hao⁴ で成人を呼びかけることは正式な事柄であると見なされる。

第6課 (P.15) THE COMMON PREPOSITION OF PLACE. <場所を表す一般的前置詞>

「在」は～に、～で、である。すなわちそれは名詞の前に置かれ、一般に名詞に付属する後置詞が後に続く。あたかも我々が英語で当然、壁のほうにと言うかわりに to the wall-wards (壁のほうに) と言うように。最も一般的な後置詞は「裏・外・上・下」である。「在」は時には省略される。すなわち 18 番あるいは 24 番。

○ノート (p.17)

2. 我的母親還在。

「在」はここでは to be alive (生きていること) を意味する動詞として使用されている。これはある人がまだ生きていることを言う時の一般的な手段である。そして亡くなったことを言う時は「不在」を使用する。

5. 他兩個人躺在床上。

私は現在の時間 (現在進行形) に関連付けてこの文章を翻訳した。もし単語自体に生じるいかなる事物もなければ、they were lying on the bed (彼らはベッドの上で横になっていた) と、等しく適切に翻訳することができる。正しい意味は文脈の関連性から推測できるはずである。中国語における、時制の屈折語尾 (-ed など) の欠如は、言語の大部分をあいまいな状態にしている。

6. 在樓底下沒有人。

「在樓底下」は逐語訳で at the loft underneath (上層階のしたで) である。「底」は省略されることがある。そして若干の地域では一般的に省略される。この文の最後にある「人」は、one (人) に相当する。それはたびたび不定の意味、例えば any one、any body (誰も) という意味で使用される。第 52 課を参照のこと。

9. 在上有天、在下有地。

「在上」は At the above (上で)。名詞が欠けているので、「上」を名詞として配置している。同様のことが次の句においては、「下」がそれに当てはまる。この表現形式は、しばしば中国人の話し手の真剣さを神に示すために、天および地を表現する時に使用される。〔中国語の神の概念を含んでいるため〕

10. 不用 (敲 / 打 / 叫) 門、他不在家。

「打」と「敲」はいずれもドアをノックする時に使用される。ある場所では一方がより多く使用され、またある場所ではもう一方がより多く使用される。「敲」は二個の単語のなかで、

より礼儀正しく上品である。to call the gate (門を呼ぶ) という意味の「叫門」は、同様の意味で広く使用されている。書面語的な単語は、「叩門」 k'ou⁴ mèn² である。

12. 大姑娘、在家里紡 (棉花 / 線)。

また my eldest daughter (私の一番上の娘) など、と翻訳されることがある。すなわちどれが正しいかは、話し手が誰であるかによるものである。若干の地域では、「棉」は省略され、そして「紡花」が単独で使用される。

14. 你的帽子、不好放在地下。

「底下」 (6) と「地下」の違いに注意されたい。

17. 他父親的 (店 / 舖子)、在大街上。

南方では「店」は「舖子」の代わりに“shop” (店) という意味で使用される。そして宿屋は「客棧」 k'e⁴ chan⁴ あるいは「客寓」 k'e⁴ yü⁴ と称される。

23. 有一個老頭子、在門外要飯。

「討飯」 t'ao³ fan⁴ がより一般的であるが、「要飯」は一般に物乞いするという意味に使用される。

第7課 (p.17) SING OF THE PAST TENCE. 《過去の時制を表わすもの》

「了」は動詞に付けて、動作が完了し、それゆえに過去であることを表わす。会話では la³ (la の三声) に短く発せられる。また、助動詞にもなる。—88 課を参照のこと。

「已經」は過去の時間を示すが、常に現在かあるいは一定の過去か未来と関連付けられている。それゆえ完了と過去完了の両方の時制に対応している。しかし have や had より意味が強いので訳すときはしばしば already を加える。「已經」は否定詞によって分離されている時をのぞいてその後ろにすぐに動詞がくる。動詞の前に「已經」が来る時は、いつも「了」がうしろに付くが、「了」はしばしば「已經」の先導なしに使われる。

未来完了形はこの課では難しすぎる。(ので述べない。)

○ノート (p.20)

1. 張先生的 (錢店 / 錢舖)、已經 (黃了 / 倒了)。

「破産した」という意味の「黄」をむしろ「荒」 hwang¹ (hwang の一声) と書くかどうか、また hwang² (hwang の二声) でよむべきではないかということについては不明確なところがある。「倒」はふたつの形 (「黄」と「荒」) の使われ方で、もっと広い範囲で使われている。

4. 大老爺已經走了。

接頭語の「大」はとくに県知事に付けられるものと考えられてはいないがおおむね県知事に付けられる。それは正確には長官と軍隊の士官に付けられる。「大人」は道台 (= 道員) と

官僚に付けられる。

5. 他的事情已經說明白了。

「說明白了」は取引において議論して同意することか、あらゆる種類の商売上の取り決めを意味する。－109 課を参照のこと。

7. 丁先生的母親、已經死了。

対等な礼儀作法によって表現されている（少し失礼な言い方である）。has already died（すでになくなった。）

9. 沒有法子、事情已經壞了。

動詞の目的語がここでは主格になっており、その語の位置により動詞を意味上の受身にしてある。これはたいへん一般的な言い方であり、正式な、「被」をとまう受身よりもっと一般的である。－53 課を参照。この課ではいくつかのほかの例がある。

11. 張老爺的錢、已經花淨了。

「花淨」一直訳すると spent clean（きれいに使ってしまう）。すなわち all spent（すっかり使ってしまう）。

13. 做完了活、你可以來告訴我。

「完」は頻繁に動詞のあとに助動詞としておかれ、動作の完了を表わす。－101 課を参照。

15. 這個字我忘記了。

この文章は英語の語順に従うと、「我忘記了這個字」となるが、本文のようにすると中国語らしい。

19. 已經過了時候、先生還沒來。

英訳には it is や and を補う。これは、中国語がいかにこれらの、英語では頻繁に用いられ、かつ有用である細かな言葉ぬきで話されているか、ということの例証である。

20. 這些話、我們已經學了兩天。

「話」は一般に words（言葉）を意味するが、この文脈では、sentences（文章）と訳すべきである。

第8課 (p.20) THE DIRECT INTERROGATIVE PARTICLE. <直接疑問詞>

「嗎」は直接疑問の標識である。質問は、Yes か No で答えられるだろう。中国語はわたしたちのように語尾を上げることで直接疑問文を表わしたりはしないが疑問の節の最後にこの特別な言葉を付け加えることで疑問を表わす。「麼」moǎ という字はしばしば「嗎」のかわりに書かれる。いつも「麼」と書くように主張する先生もいるが間違いである。

「麼」は他の不変化詞とくっついて（17 課と 36 課を見よ）間接疑問文をつくる。それは特質のある標識である。会話では両方の発音（ma と moǎ）がきかれるが ma のほうがより頻繁である。

*ノート

「嗎」は以前はののしることを意味していたが、今では全く「罵」にとって変わられた。直接疑問文の専用の特徴のある標識として「嗎」を残している。学者ぶった先生方はそれが近年のもので口語の文字であるため、「嗎」を使うことに反対する。

○ノート (p.22)

6. 你看我怕你嗎。

「看」はここでは、to think (考えること) を意味する。知識を学んだり判断をすることを主な意味とするということは、判断する行為として比喩的に表現されている。

7. 這些銀子殼了嗎。

はかりに掛けられる銀は不規則な塊でできているので中国語では複数形が使われている。

8. (扯謊 / 撒謊) 還不算罪嗎。

確かに非常に論理的であるかもしれないが、うそをつくことは中国人にとって道徳に反することとは特に考えられてはいない。

「罪」という概念はキリスト教の罪の概念をあらわすものから、はるかに隔たっている。

「還」はほぼ and によって訳出される。それは驚きを表わし、質問に強調を加える。

9. 你不是張先生的兄弟嗎。

例外の組み合わせはないが、「兄弟」は younger brother (弟) を意味する。「兄」単独のときは elder brother (兄) を意味する。「弟」単独のときも younger brother (弟) の意味である。逆にした時、すなわち「弟兄」は、兄も弟も含めた brothers (兄弟) を意味する。

13. 你還敢說不該我這個錢嗎。

「還」を、もし特別な強調をつけて読まない場合は強調であり、even の意味を表わすだろう。しかし、強調されれば、本来の意味である、still をあらわしているにちがいない。Do you still dare to say, (あなたはそれでもやはり思いきって言うのですか?)

16. 你的錢不殼、不好 (對老板 / 跟東家) 借一點嗎。

中国語でしばしばそうされるようにここでは仮定の概念が含まれている。それは一方で文章の語順によって、もう一方で発話のなかでの強調によって示される。

(21) も同様である。古代では家や庭の東側は持ち主や主人が住み、西側が客人に当てられた。それで「東家」という。この「家」の使い方については72課を参照のこと。

20. 張老爺不在家、你不曉得嗎。

最初の節は肯定的に話され、次の節は疑問に思っ話されている。Mr.Chang is not at home ; don't you know? (張さんは家にいません。あなたは知らないのですか?)

22. 先生不 (好過 / 大好) 嗎。答: 是、我的頭疼。

「不大好」は not very well(あまりよくない。)である。「大」は否定の後でしばしばこのよ

うに強調として使われ、very に等しい。「不好過」は直訳すると not passing over well (あまり良い具合にすごしてはいない) であり、つまり not in good health (具合がよくない) である。これは南方官話であり、「不大好」より意味が強い。英語の慣用法では no とこたえることを要求されるのに中国語では yes とすることに注意しなさい。

第9課 (p.22) HERE AND THERE. <<こことあそこ>>

「這裡」ここ、この場所

「這兒」同上

最初のもはもとの形であり正規の形で、公の講話の中や、厳肅さが求められる時にいつもつかわれるべきものである。二番目のものは短い口語体のものである。これは中央や南方の官話に比べて、北方官話に良く使われる。南京ではまったく聞かれない。

「那裡」あそこ、あの場所

「那兒」同上

これらのふたつの型は前に述べたこと（這裡、這兒）に相当し、同じ意見が適用される。

「此地」この場所で。ここで。主に南方官話で使用される。南方官話では、多くは「這裡」のかわりに使われている。

○ノート (p.24)

1. 請先生在這里坐。

この文章は、もし「請先生坐在這里」と書かれたとしても（本文と）同じように良いだろう。

3. 你那（里 / 兒）的年成好嗎。

直訳は Is you there's year good? (あなたのこれらの年は良いですか。) 中国語は所有形の場合 “there” を置く事については自由である。

4. （此地 / 這兒）是個規矩地方。

「規矩」は当然、名詞であるが、ここでは形容詞として使われている。中国語の単語や句が会話のいくつかの部分としてつかわれることはとても一般的なことである。これらの品詞の転換は学習者を驚かすことはないだろう。

11. 你這些（傢使 / 傢伙）、可以放在這里。

「的」は「你」のあとに隠されている。この慣用形は翻訳した形とほとんど同じ効果を与えられている。

「傢伙」は北方と南方の両方で使われる。——「傢什」を参照のこと。

「傢使」はおもに山東で使われる。

12. （此地 / 這里）的木匠、沒有好手藝。

「好」は翻訳から省かれる。それは次のように文章を変えることで保存しても良いかもしれ

ない。The skill of the carpenters of this place is not good. (ここの大工の技術はちっとも良くない。)

13. 这里是住家、不是講書堂。

「住家」は a live-home (住居) すなわち a private residence (個人の住宅) である。この文章は、入るべきでなかったプライベートな部屋や家屋に押し入ってしまった訪問者や見知らぬ者に適切に使われるだろう。教会はだれでも入るのを許される公共の場所と考えられている。

14. 過(午/晌)先生可以在这里写字。

「過午」は南方で「過晌」は北方で良く使われ、両方ともおそらくほとんどの場所で理解されるだろうけれども「過晌午」もいくつかの場所で聞かれる。しかし南京の先生はこれらすべてを拒絶して「中飯後」を主張する。

17. (此地/這兒)的人、實在不(講/說)情理。

この文章では「講」は「説」よりももっとひろく使われており、「情理」は愛情と道理であり、それは“ought”の概念を形成している、理論的な道理の原理と結びついた人間の感情である。

18. 他在這裡、坐了半天纔走了。

“half day”はここではしばしばそうされるように、相当な時間か状況に見合ったより以上の時間を意味する誇張として使われている。文章の翻訳では、ここでは before と訳されるべき「纔」=then が要求される。

19. 他害了怕、這(里/兒)藏、那(里/兒)躲。

「了」は「害怕」のうしろに来る代わりに、上品に「害怕」の間に挿入されている。Hid himself here and there (彼自身をあちこちに隠す) 直訳では hid here and skulked there (こちらに隠れ、あちらに隠れる) である。

21. 你們那里的規矩、比我們這裡(好/強)。

正しくは「這裏」のあとか「強」の前に「的」を置くべきであり、話ことばではしばしばそう話されているだろう。「的」を省略でき、また中国人の教師がなんの不都合も示さないのはかれらの話し言葉には特有の文の分析が応用されないことを示している。

22. 木匠(司務/師傅)在那里嗎、答: 我沒看見。

「師傅」はあらゆる芸術、専門職の特有の師匠、教師を意味する。北方のあらゆるところで使われる。ただ揚子江の教師はこれを拒絶し、北方ではまったく承認しがたい「司務」を代わりにする。

第10課 (p.25) THE AUXILIARY VERBS 来 AND 去. <助動詞動詞「来」と「去」>
中国語には他の動詞に付いてその意味を限定したり、制限したりする助動詞動詞という大き

な分類がある。これらの最も簡単なものは「来る」の「来」と「行く」の「去」である。これらは方向の助動詞動詞で動作の概念を含むあらゆる動詞に接続してかまわない。

○ノート (p.27)

4. 可以(喊/叫) 兩個人來抬(轎子/轎)。

翻訳は中国語に含まれる、方向や命令を十分に伝えることができていない。「叫」の使用は“call”という中にプロの駕籠かきがいることを意味している。そこにそのような人がいない場合は、to seek (探す。) という意味の「找」chao³ が、最も適したものとして使われるだろう。

9. 大狗(搶了/奪了) 小狗的食去。

「食」=たべものは官話において句の中のみに使われる。

10. 這三個箱子、還沒有發去嗎。

南方では「隻」は一般に“boxes” (箱) の区別詞 (量詞) として使われる。

15. 請王先生、明天(帶/捎) 我的綿衣裳來。

「捎」は to bring (持ってくる)、take or send along with (持っていく、あるいは一緒に送る)、という意味を表わし、何のために持っていくのかは質問の内容には入っていない。

これは南方官話では使われない。

南方官話では「帶」が代わりに使われるが、もちろんそれは「捎」の一部分の役目をつとめるだけである。

16. 說來說去、還是那些話。

「說來說去」は大いに慣用的な表現である。なんども繰り返すことか、焦点の合わない話しをだらだら喋ることを意味している。時間が過去か現在か、三人称か二人称に訳されるべきなのかどうかを表わすものはなにもない。その文章の文字どおりに訳すことはできない。

17. 他們四個人、抬轎去接王大人。

役人が旅行で彼の管轄外にある都市に近づいた時は、儀礼として下の階級の役人が遠い距離であろうと近い距離であろうと、都市の郊外まで彼を“receive” (出迎える) ことを要求される。「大人」として呼ばれる資格のある軍の役人は一般的には准将の位に相当するであろう。

19. 這些東西、你還沒送去嗎。

ここで目的語が何故はじめに来るのか注意せよ。

21. 你借了我的筆去、明天要送來。

この文章は形式的に表現することなしに関係節 (=条件節) を暗示している。46 課を参照のこと。

22. 丁先生的兒子、從關東(寄了/捎了) 信來。

ここでの「帶」は「捎」には取って代わることはできないだろう。そして、「寄」はいく

ぶん文語である。

23. 他借了我的大襖去、當了五百錢。

衣服やほかの品物を質に入れて、“making a raise”（金を工面するため）に衣服などを借りることは中国では一般的な慣例である。

24. 王老三的兒子、在這跑來跑去、實在討厭。

家族の息子たちは年齢によって序列が付されており、しばしば姓にそれらの番号を付けることで明示され、その間にさらに「老」を付ける場合も付けない場合もある。最年長はしかし「王一」とか「王老一」とは呼ばれないで、「王大」または「王老大」と呼ばれる。「老」の使用はその当人が年老いている事を示さず、単純に年齢ではかれが第三番目であることを示すだけである。まだ歩けない子供でもそう呼ばれるかもしれない。このようにして一人のひとの息子たちを順番付けるだけでなく、一緒に住んでいる兄弟の息子たちも自分の兄弟としてすべて数え挙げて、年齢の順に順番が付られる。